

平和が丘学区防災委員会

薫風さわやかな季節を迎え皆さまには日々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

少し遅くなりましたが平和が丘防災タイムズ第 15 号をお届けします。内容は昨年 12 月から現在までの当委員会の主な活動内容及び新年度の計画などです。

1. 地域の防災力を高めるための名東区区民ミーティング(12月20日<木>名東区役所にて)
54名参加(当学区2名)
2. 名東区役所、東邦高校、当委員会の三者で東邦高校避難所開設時の管理・運営等について協議(12月21日<水>東邦高校にて) 夜間の校門開錠、使用可能期間等はじめ救援物資置き場やゴミ集積所など具体的な事柄について協議しました。高校と学区との平素の連携が大事です。

——以下は 2013 年 1 月から現在までの主な活動——

3. 猪子石中学校避難所開設時の運営等について合同検討会(1月30日<水>猪子石中学校にて)
猪子石中学校は当学区の中学生通学区域であることから、千種・名東両役所並びに蓬萊、宮根、平和が丘の各学区及び猪子石中学校の代表者が出席して受け入れ体制等について協議。今後、細部についてさらに検討することとしました。

4. 学区消防団と防災に関する検討会(2月4日<土>コミセンにて)

日常の防災活動については学区消防団のご協力なくしては成り立ちません。防災活動の一層の活性化を目指して消防団と意見交換をし、またご助言を頂きました。以下主な内容です。

- スポーツフェスタの競技種目に防災関連種目を取り入れて防災への関心を高める。
- 学区防災訓練(6月)に斬新な企画や種目を取り入れる。(昨年は起震車による振動体験)
- 自治会単位の自主防災訓練の充実 特に参加者が少ない現状をどうするか——訓練を消防団依存から防災会役員主導で行うようにする。そのために班長や参加者等にマニュアルを配布するなどの工夫も必要。根本的には住民の意識の問題。
なお、今年度からは座学形式ではなく実際的な訓練内容でお願いすることになります。
- 各家庭の火災報知器及び消火器の設置と交換について——昨年の防災アンケートでは火災報知機の設置率 72%、消火器の設置率 36%でした。

5. 新年度区政協力委員(新自治会長)と防災活動について協議(3月23日<土>コミセンにて)
平成 25 年度の区政協力委員(自治会長)と、予想される南海トラフ巨大地震を前堤に学区における防災活動への今までの取り組みと今年度の活動について協議し要望しました。

予想される地震の規模は M9.1、東海 4 県の犠牲者 17 万 5 千人余といわれ(内閣府' 12.8 発表)、名古屋港の津波は 15 メートル以上と想定されています。ちなみに平和が丘は標高 40~70 メートル(名東消防署付近で 37 メートル)に位置しています。

★平成 25 年度の活動計画

今年度の新しい活動として次の事を予定しています。皆さまのご協力をお願いします。

① 避難所の管理・運営について

学区の環境に合った避難所の立ち上げ、避難者の受け入れなどのルール化を設定します。

② 自主防災推進会議の設定(年 2 回 6 月と 11 月)

自主防災会会長、消防団長、防災委員による推進会議を設定し、自主防災訓練の充実と日常活動などを協議して防災力の向上をはかります。

③ 高齢者への防災の備え

民生委員に協力して高齢者の会合への出席や自宅を訪問するなどして災害時の備えや防災意識の高揚と共有をはかります。

④ 学区行事へ防災関連の内容を組み入れる

スポーツフェスタ、コミセン文化祭など学区の諸行事に防災関係の企画や種目を取り入れて広く防災への関心と意識の浸透をはかります。

避難所は、災害対策基本法(1961)に基づいて出される市区町村長の避難勧告・避難指示を受けて行政機関が開設します。最初に、区災害対策本部によって建物の安全確認が行われ、その後の運営は避難所で選ばれた係(責任者)が中心となります。

過去の災害経験から、特に豪雨災害の時は屋外避難より自宅内での「待避」や高い階に逃げる「垂直移動」などが安全であると政府の専門調査会は提言しています。各家庭の状況判断が大事になってくると言えるでしょう。

★自主防災会の体制について

自治会長は、区の災害対策委員と区政協力委員を兼任している関係から、今年度より自主防災会会長との兼務をしないことになりました。災害時の対応が難しいためです。

★当面の主な日程は次の通りです

○6月23日(日) 学区総合防災訓練 午前10時～12時 (会場) 平和が丘小学校

同日午後 防災検討会(学連協委員、自主防災会会長、防災委員)

○6月15日(土) 自主防災会推進会議

○7月7日(日) 自主防災会会長研修会(名東消防署主催)

○7月13日(火) 7月27日(土) 自主防災会班長研修会(名東消防署主催)

○6月～7月 防災あんしん調査票の配布と回収

★委員会の名称変更 今年度より委員会の名称を「平和が丘学区防災・地震対策委員会」から「平和が丘学区防災委員会」に変更しました。簡略化のためです。委員は次の方々です。

・委員長 後藤 浩一郎 ・副委員長 津田 信行 吉田 欣一 ・事務局長 佐藤 弘

・会計 森 文男 ・委員 河村 庫夫 佐野 敏昭 舟橋 三千秋 中川 衛

田中 健 浅井 重子 山本 篤也 高木 豊孝 ・顧問 山田 賢

<編集後記>平和公園のシンボル、平和堂からの眺望が成長した樹木で狭くなりましたが、それでも俯瞰図のように眺める風景はここを訪れる人々の足を止めさせています。大事にしたい所です(編集 高木)。